

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名 能勢町
 実践研究校名 田尻小学校

【公開授業】公開日：平成25年11月25日

対象学年：

(教材・教科書名) 英語ノート「自分の一日を 紹介しよう」 (単元名) 英語ノート「自分の一日を 紹介しよう」 What time do you get up?	(本時の指導の目標) ・世界には時差があることに興味を持つ。 ・積極的に自分の一日を紹介したり、友だちの一日を聞き 取ったりしようとする。 ・自分の一日の生活を紹介する。
--	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・児童が自分の生活表を作成する。
- ・生活表をもとに自分の生活を紹介しあう。
 (チャンツを一緒にする。)
- ・絵やパネルを使って児童が興味・関心を高めやすいようにした。
- ・ゲームを取り入れ、ジェスチャーを大きくするなど、表現力を高めた。

(授業後を終えた教員の感想)

- ・児童3名とも、楽しく積極的に取り組んでいることが良かった。
- ・時間(1~60の数字)を英語で、話すことができていることについて、低学年からの日常の取り組みの成果である。
- ・学習発表会で、英語劇「3びきの子ぶた」を行う中で、英語活動を通しての表現力が一層高まった。

【研究協議会】

(テーマ) ・外国語を用いることによって、音声や基本的な表現に 慣れ親しむ。 ・日常的に英語に親しめるようにする。	(指導・助言者) 加賀田 哲也 教授 (大阪教育大学) 後藤るみな(能勢町教育委員会) 遠藤克俊(能勢町教育委員会)
--	--

(研究協議会で出された意見)

- ・担任の関わりとして、授業の進行役やモデル役、サポート役等役割分担を確認し、積極的に活動をおこなうべきであった。
- ・ALTの説明が早口で、児童が理解できない場面もあり、もう少しわかりやすく、また、

日本語で説明すべきであった。

- 児童の発表をもとに、授業者がより具体的に質問を広げ児童の発表の幅を広げることも工夫もできるのではないか。児童が英語で答えられない場合、日本語で答えてもよかつたのでは。
 - ALTが正しい英語の発音・文法等教えると共に、異文化理解の情報提供も行ってほしい。
-

(まとめ)

1. 講師先生から外国語活動のねらい、授業の流れ、評価についての講話
(活動を通して表現力を高める。自己理解、他者理解に努める。人権意識を高める集団づくり等の役割がある。)
2. 本日の授業、自己紹介等の活動を通して、テーマである「音声や基本的な表現に慣れ親しむ。」「日常的に英語に親しめるようにする。」を念頭に置いて取り組んでいく。低学年から進めていく。
特に、朝の挨拶、曜日、天気、日等習慣的に英語に慣れるように心がける。教職員も意識的に英語を使う場面を増やしていく。